

使い捨てマスクは、帰ってからゴミ箱に捨てて下さい...

外には捨てないで、ウイルスなど拾うリスクがある。

植田町の各池には、また健在である。カイツブリ達。6月23日には、中池で今年も5羽のヒナを連れた家

おおばこ 植田町の自然探し・182 2020.7.29

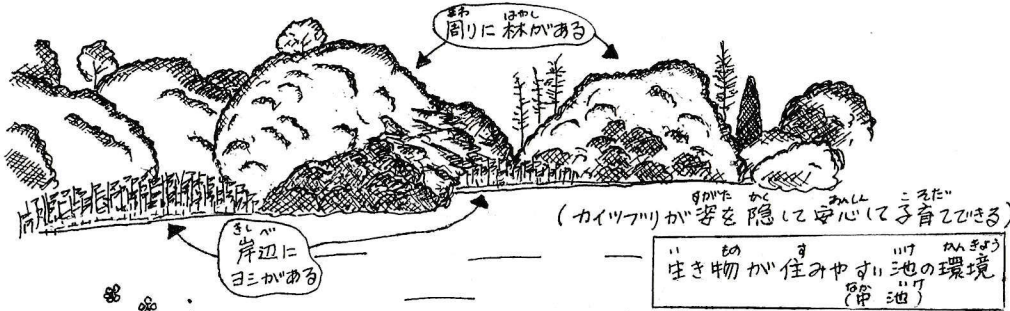
カイツブリや生き物が安心して暮らせる環境

族の姿に出会う事ができました...しかし、その後の大雨以来見ていません。育たなかなのかね...?この所、カイツブリが他ではなかなか見つかるから親はこれの鳥が生きやすい植田の池の環境は大切です。



カイツブリの親子!!

Noriko M. ♀



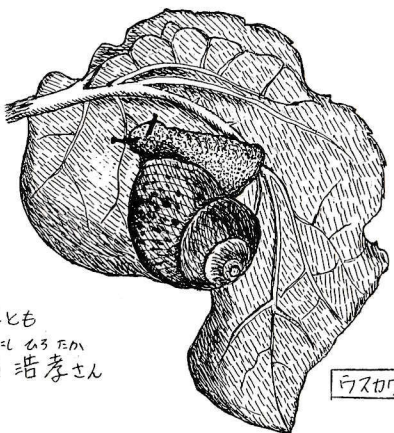
周りに林がある

岸辺にヨシがある

(カイツブリが姿を隠して安心して子育てできる) 生き物が住みやすい池の環境 (池)



ヒシはどみ草

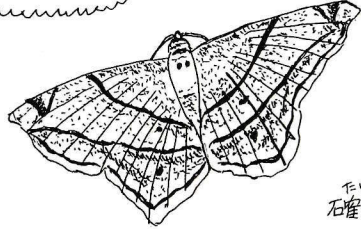


ウスカワマイマイ

見かけなかった、けど普通種です

やはり、中池で出会ったのは、見慣れないカタツムリ(6月12日)。まさか、外来種? それとも貴重種? 豊橋自然史博物館学芸員西若孝さんに画像見て頂き、普通にいます、と言うウスカワマイマイだと分かりました。

虫の仲間が多い!



フタテオエタシヤク

常緑のツツジの仲間

6月には、シヤシヤニホに白くて小さな可愛らしい花が今年も沢山咲きました。実は、ツツジの仲間。葉は、はのみでいると、見分けにくく、類しみにくい常緑樹...でも花や果の姿を知らねば、その見方も変わるかも知れません! 小さな実は甘くはくくて食べられます。通信に描いたのは3度目となりました。(通信No. 28, 65参照)

まるで、古い世界地図の様な模様

6月23日、待池で、見慣れない蛾を見つけた。まるで昔の世界地図の様な面白い模様。手持ちの図鑑には載ってなくて、パソコンで検索。フタテオエタシヤクという名でした。幼虫はネムキの葉を食べるとあります。確かに、いたのはネムキの葉の上だった! 虫たちは種々暮って、食べる樹や草の種類が決まっているのです。



み実はフルーベリーのような味に似ている

シヤシヤニホ

葉っぱは、ヒカキとの姿は、ヒカキと間違えそう



今年の梅雨は長い...

イハラが咲き、テリハノイハラに代わり、そして6月はナワシロイチゴの果が成りました。今年は、



ナワシロイチゴ

果の姿を描いたのは、255も3度目!! (通信No. 139, 161)

梅雨の時期が長く、雨も多い日々です。

発行: 牧野 紀子 (もり~ゆ)
豊橋市植田町字南柄沢43-2
<http://morigaiisutekizizen.hatenablog.com/>
身近にあたり前にいた、生き物がいなくなる... 近頃この危機が来て来ている。

多い雨は自然界にも影響がありそう。次号生物層でその様子が分かるかな? そして九州の災害、お見舞い申し上げます。